

新病院長挨拶

徳島大学病院は時代の最先端をいく高度医療を地域の皆様に安全に提供することを使命とする特定機能病院です。「単に病気を診るのではなく、人を診る」という理念を大切に、病気の背景にある患者さんの人生や家族までも視野にいれた医療を実践することを心がけています。徳島大学病院には696床の入院ベッドがあり、医師や歯科医師、看護職員、医療技術者、事務系職員など合わせて約1600名の職員が働いています。研修医や学生の教育も大学病院として果たさなければならない役割のひとつです。患者の皆様には臨床研究や実習などでご迷惑をかける場合もあるかと思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。高度医療の提供と同時に最先端の医学研究を行い、高い倫理観をそなえた医療人を養成することが大学病院の使命であると考えています。

徳島県内には病院や診療所がたくさんありますが、効率よい医療を行うためには役割分担が必要です。病診連携、病病連携システムを通じて県内外の医療機関との連携・交流を深め、高度で成熟した医療を提供することもまた徳島大学病院の使命と考えています。これからの徳島大学病院の取り組みにご期待ください。



病院長 安井 夏生

市民公開講座のご案内

■ Tokushimaピンクリボン集会
「がんとうまくつきあう方法」
【日時】平成23年8月12日(金)15:30~
【場所】ホテル千代閣
【参加費】無料
【問い合わせ】
食道・乳腺甲状腺外科医局
tel.088-633-7143

■ 日本腎臓病学会西部学術大会
「知ろう!腎臓病」
【日時】平成23年10月1日(土)
13:30~15:45
【場所】あわぎんホール
【参加費】無料
【問い合わせ】腎臓内科医局
tel.088-633-7184

■ 平成23年度 徳島県 運動器の10年
・骨と関節の日市民公開講座
「ロコモティブシンドロームと変形性関節症」(仮)
【開催日時】平成23年10月2日(日)
10:00~14:00
【開催場所】徳島県医師会館
【参加費】無料
【問い合わせ】整形外科医局
tel.088-633-7240

■ 徳島大学病院フォーラム2011秋
「血圧を下げて元気で長生き」
【日時】平成23年10月10日(月・祝)
【場所】ホテルクレメント
【参加費】無料(ただし入場整理券が必要となります)
【問い合わせ】徳島新聞社企画事業部
tel.088-655-7331

東日本大震災医療支援活動

徳島大学病院は、高度な機能を有する医療機関として、多様な被災事象に対して総合的かつ確、迅速に、長期に渡る専門的な医療支援に総力をあげて取り組んでいきます。

今回の東日本大震災に対しては、発生直後から医師、看護師、薬剤師、事務職員等のスタッフが5月30日の第20陣派遣まで継続して被災地入りしてました。

その様子はメディアで紹介され、病院内でも写真展や報告会を開催しました。国府町から来たという患者さんは写真展会場で、「臭いと埃の酷さはマスクでは伝わらないとありますが、そのあたりはさすが現場に行った人ならではの臨場感ですね」と、見入っていました。

また、報告会では厳しい環境だからこそ得られた貴重な体験、派遣チームに加われたことへの誇りと意義、共同体験によって深まったチームワーク、そして得難い機会が与えられたことへの感謝の言葉が語られました。プライマリーケアの大切さを再確認したことや、高齢者の東北弁を小学生が「通訳」してくれたこと、立ったまま魚肉ソーセージをかじるだけの昼食など、リアルで具体的な体験披露に、報告会は予定の1時間を過ぎても誰一人として中座することがありませんでした。

▶被災者の枕元を訪問しての医療活動に取り組みました



専門外来紹介

大動脈・血管治療専門外来を開設 ~体にやさしい大動脈瘤治療~

大動脈瘤とは心臓から全身に血液を送る太い血管が風船のように膨らみ、放置しておくとう裂ける可能性がある病気をいいます。従来は、大動脈瘤治療はお腹や胸を大きく切って、膨らんだ血管を人工血管で修復する人工血管置換術という手術方法が行われます。しかし、最近になって、ステントグラフト内挿術という手術方法ができるようになり、お腹や胸を大きく切らずに手術ができるようになりました。当院では本年4月から血管疾患に対してステントグラフト治療、血管内治療の専門医が担当し、少しでも患者さんの体に負担が少ない治療が行えるように大動脈・血管治療専門外来を開設いたしました。特に大動脈瘤に対しては、ステントグラフト治療はまだまだ限られた医師、施設でしか施行できず、当院では中国四国地方においてもトップレベルの最先端の高度医療を提供できるようになりました。大動脈瘤ではと心配な方、大動脈瘤と診断された方、大動脈瘤と診断されたが、大きく切る手術をしないといけないと言われた方、その他、血管疾患でお悩みの方、是非とも一度、当院心臓血管外科にお気軽にご相談ください。

大動脈・血管治療専門外来
毎週金曜日午後(担当:藤本鋭貴)
問い合わせ: 088-633-7150



▲ステントグラフトシューマ

肺高血圧症外来 ~肺高血圧症の治療のススメ~

心臓は全身の動脈に血液を送り出す「左心系」と、肺に血液を送る「右心系」に分けられます。よく耳にする高血圧症では左心系の血圧が上昇しますが、右心系の血圧がさまざまな理由で異常に上昇する病気を肺高血圧症といいます。比較的にまれな病気ですが、初期は無症状であるため、発見されたときにはかなり進行した状態であることがよくあります。肺高血圧症を来す疾患には、次のようなものがあります。

1. 肺動脈性肺高血圧症(特発性・遺伝性肺高血圧症、膠原病や先天性心疾患・門脈圧亢進症等)
2. 弁膜症などの左心性心疾患に伴う肺高血圧症
3. 慢性閉塞性肺疾患などの肺疾患、低酸素血症に伴う肺高血圧症
4. 慢性血栓性、または塞栓性疾患における肺高血圧症

これまで、肺高血圧症の治療は困難でしたが、最近肺血管を拡張する治療薬が次々と開発されています。私たちは、肺高血圧を早期に発見、診断し、適切な治療を行うために「肺高血圧症外来」を開設しました。家族が肺高血圧症といわれている方、膠原病といわれた方、原因不明の息切れのある方は、主治医と相談して、「肺高血圧症外来」を受診されることをお勧めします。

肺高血圧症外来
毎週木曜日 14:00~16:00
完全予約制(担当:山田博胤、竹谷善雄)
問い合わせ: 地域医療連携センター
088-633-9106



▲運動負荷心エコー検査

臨床試験管理センターからのお知らせ 治験に参加しませんか?

問い合わせ先/ 臨床試験管理センター Tel. 088-633-9294

現在、治験への参加をお願いしている病気は次の通りです

- 肺動脈性高血圧症
- 急性期脳梗塞
- 血小板血症
- 大うつ病
- 肝細胞癌
- 脊髄小脳変性症
- 統合失調症
- 前立腺癌
- 慢性心不全

どうぞお気軽に
お問い合わせ
ください。

「敷地内禁煙」川柳

院内も敷地も
タバコは敷地も
OFFモード